

あなたの声を議会に...

No.126

(年4回発行予定)

令和3年2月15日発行

 **たるみず**

# 市議会だより



コロナに負けるな!!  
がんばろう! 垂水

垂水中央病院 (左) とコスモス苑 (右)、窓越しのエール交換

## 目次

【令和2年第4回定例会】 .....	2
常任委員会審査結果 .....	4 ~
一般質問 .....	6 ~
議案等の審議結果 .....	12
令和元年度決算特別委員会 .....	15
令和3年第1回定例会日程案 .....	
編集後記 .....	16

発行/垂水市議会  
 編集/垂水市議会だより編集委員会  
 鹿児島県垂水市上町 114 番地  
 Tel 0994-32-1111 (内線 358)  
 メールアドレス



垂水市議会  
ホームページの入り口

t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp

令和2年  
第4回定例会

# 一般会計補正予算 (第11号)(案)可決

## 一般会計予算総額 146億9,138万円

第4回定例会は、11月27日から12月18日までの22日間の会期で開かれました。

定例会では、38件の議案や報告、陳情等が審議され、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業等の早急な執行に対応するために専決処分された一般会計補正予算(第9号)6253万円をはじめ、プレミアム付商品券事業等に係る一般会計補正予算(第10号)、垂水中央病院の感染症対策等に係る病院事業会計補正予算(第4号)を承認しました。

また、庁舎建設白紙化に伴う継続費の廃止や庁舎整備事業の全額減額のほか、垂水島津家墓所の災害復旧事業費、新型コロナウイルス感染症対策事業等を盛り込んだ一般会計補正予算の増減額(第11号)13億6549万円の減額は、全会一致で可決されました。

※審議結果は13・14ページに掲載

一般質問では12名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は6ページから掲載

### ～令和2年度一般会計補正予算(第11号)の主な事業～

#### 新庁舎建設費

▲16億6,529万円

設計等の委託料、工事請負費、公有財産購入費等の経費の減額

#### 垂水島津家墓所(災害復旧費)

4,989万円

令和2年7月豪雨災害による垂水島津家墓所の設計委託料や工事請負費等の経費

#### 災害廃棄物処理委託料

700万円

令和2年7月豪雨災害による全壊家屋解体撤去の経費

一般会計補正予算(第11号) ▲13億6,549万円(減額)

#### 電算システム改修費

632万円

税金等をコンビニ収納できるようにするための電算システムの改修費

#### 是井川設計委託料

300万円

是井川排水路改修構想のための測量設計委託料(川幅・川床・流量等を測量)

請願・陳情・意見書

第4回定例会では、請願2件・陳情2件・意見書案3件が審査されました。

請願第3号

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級化についての意見書提出を求める請願

提出者

新日本婦人の会 垂水班

代表 宮田 明美

趣旨

コロナ禍における20人学級を展望し、少人数学級化への施策を国の責任で実施するよう求めるもの。

請願事項

・子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障するため、「20人学級」を展望し、少人数学級を実現すること。そのために国は、義務教育標準法を改正し、教職員定数改善計画を立てること。

審査結果

採択（全会一致）



請願第4号

介護保険料の負担増の中止と意見書の提出を求める請願書

提出者

医療と福祉を考える会

代表 菊永 哲彦

趣旨

介護保険料の負担が増えないよう、国への意見書提出を求めるもの。

請願事項

・第8期介護保険事業計画の介護保険料の負担を増やさないでください。  
・保険財政における国庫負担割合を引き上げ、必要な時に必要な介護が受けられるように、政府に対して介護保険制度の改善を求めるための意見書を出してください。

審査結果

継続審査

陳情第8号

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出についての陳情

提出者

たるみず9条の会

代表世話人 川上 稔 他2名

趣旨

核兵器禁止条約への署名・批准に係る国への意見書提出を求めるもの。

審査結果

採択（全会一致）



陳情第9号

新庁舎建設の新たな計画づくりの推進を求める陳情

提出者

新庁舎建設を考える会

共同代表 池田 稔 他2名

趣旨

令和2年8月の新庁舎建設に係る住民投票及び9月議会以降、多くの市民から新庁舎建替えがどうなっているか心配する声が上がっていることから、特別委員会の設置や、新たな新庁舎建設計画づくりを推進するよう求めるもの。

審査結果

不採択（新庁舎建設を推進するという考え方・方向性に異論はないが、陳情書の内容について再検討していただきたい）

意見書案第8号  
種苗法「改正案」の廃案を求める意見書

※持留議員提出、感王寺議員・川畑議員賛成による議員提出議案

趣旨

種苗法「改正案」の廃止を求める政府への意見書提出を求めるもの。

審査結果

原案可決（全会一致）

提出先

内閣総理大臣・農林水産大臣

意見書案第9号

少人数学級の推進を求める意見書

※ 上記請願第3号に係る意見書

審査結果

原案可決（全会一致）

提出先

内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長

意見書案第10号

核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書

※ 上記陳情第8号に係る意見書

審査結果

原案可決（全会一致）

提出先

内閣総理大臣・外務大臣・衆議院議長・参議院議長

# 産業厚生委員会

11月27日の本会議において付託された議案について、12月10日に産業厚生委員会が開催され、審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

## 垂水市道の駅交流施設の指定管理者の指定について

### 内容

令和3年3月31日をもって道の駅たるみずの指定管理期間が終了することに伴い、地方自治法第244条の2第6項の規定により、新たな指定管理者の選定について議会の議決を求めるもの。



指定管理者選定委員会、株式会社森建設を候補として選定。指定管理期間は、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間。

### 主な質疑

**問** 地域の方々との連携した運営をすることにより、地域の活性化につながると思うが、どう考えているか。

の指定について、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

指定管理者選定委員会、株式会社アイセットボンドを候補として選定。

### 主な質疑

**問** 指定管理者候補者が評価された理由は。

**答** 合宿等の受入れ時において、送迎や食事の提供などにより各団体が信頼感を勝ち得ていること、森の駅を熟知している強み、合宿等を閑散期に実施することで年間収益を上げるプランの立案、何より垂水のために市内企業として貢献したい、という熱い思いを感じたところである。



## 垂水市猿ヶ城溪谷合森の駅たるみず及び垂水市猿ヶ城活性化施設の指定管理者の指定について

### 内容

令和3年4月1日から令和6年3月31日（3年間）までの指定管理者

## 令和2年度垂水市一般会計補正予算（第11号）案

### 内容

委員会所管の事項で、令和2年7月豪雨災害による農業者向けの支援

事業補助金、道の駅たるみずの設備や市営住宅等の修繕料、林道白山線の災害復旧事業費などを審査。

### 主な質疑

**問** 市営住宅を計画的に修繕できないのか。

**答** 公営住宅については、長寿命化計画に基づいて解体や建て替え等を実施しているが、修繕のスケジュールは明記していない。計画的に修繕できるよう、検討していきたい。

**問** 高齢化が進む中、狩猟免許を新規で取られた方はいたのか。

**答** 年度当初4名分を計上していたが、今回10名分を補正計上した。この中には若手も数名いる。

- ☆新規狩猟免許取得補助金（狩猟免許に関する補助）
- 狩猟免許取得試験受験料  
↓免許1種類当たり5200円
- 狩猟免許取得講習会↓1万円



総務文教委員会

11月27日・12月8日の本会議において付託された議案や請願・陳情について、12月11日に総務文教委員会が開催され、審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

令和2年度垂水市一般会計補正予算（第11号）案

付託内容

委員会所管の事項で、議場カメラシステム構築の委託料、市ホームペー  
ジから閲覧できる桜島ライブカメラ  
破損に伴うネットワークカメラ購入  
費、特定健康診査に係る委託費、新  
庁舎建設事業の白紙化に伴う実施設  
計委託における借入の全額繰上償還  
費、各種公共料金のコンビニ収納に  
関するシステム改修・導入業務委託  
費、垂水島津家墓所の災害復旧費な  
どを審査。

主な質疑

**問** 繰上償還までに利子の発生や元  
金との関係で問題はなかったか。

**答** 10年で償還する予定であった借  
入に対する利子は72万8030円と  
なる。今回の繰上償還までの利子は、

9月に4万3791円、12月に3万  
2398円となる見込みであり、令  
和3年度以降の利子の発生はない。  
また、令和2年度は元金据置きとなっ  
ている。

**問** コンビニ収納の費用対効果と維  
持管理はどの程度か。

**答** 費用対効果については、他の市  
町の分析を含め、今後算定してい  
きたいが、就業されている方の夜間の  
納付等を含めた利便性の向上を図る  
という目的がある。維持管理費は、  
今後発生が  
予想される  
が、取扱手  
数料は、現  
在より約6  
倍増となる  
見込みであ  
る。



公立学校情報機器（端末）購入契約について

付託内容

9月議会で可決された予算の範囲  
内で、導入するタブレット端末と同  
時に導入するクラウドサービス等が  
決定。このことにより鹿児島県教育  
委員会が実施した共同調達に本市が  
参加し、県が採用決定した業者と随  
意契約するもの。



主な質疑

**問** 共同調達に同意するまでに、他  
の業者と比較したのか。

**答** 当初は業者から直接、見積を取っ  
ていたが、共同調達に移行後は、県  
でiPad関係、windows関係等、  
それぞれで仕様書に基づき、5社程  
度でプロポーザル方式の入札を行っ  
ている。

**問** 単価について、県として積み上  
げて積算し検証したと思うが、市は  
客観性をもって対応したか。

**答** 単価について県がまずしっかり

と見たうえで、我々市町村にも全て  
同じように提示されたことから、そ  
こは担保されている。その後の業者  
との交渉の中で、さらにきちんと担  
保されながらここまで来ている。

令和2年度垂水市国民健康  
保険特別会計補正予算  
（第3号）案

付託内容

新型コロナウイルスの影響により、  
収入が減少した被保険者に対する国  
保税の減免に伴う補正及び今後の医  
療費の増加見込みによる保険給付費  
の補正、医療専門職の会計年度任用  
職員の新規雇用に係る費用の補正。

主な質疑

**問** 当初予算に比べ、医療費が増加  
した要因は。

**答** 白血病・脊椎障害・虚血性心疾  
患等の医療費が増加したことによる  
ものである。



令和2年 第4回定例会

# 一般質問

12議員が登場!

新型コロナ対策実施中  
(マスク着用・アルコール消毒・換気)

## 市政を問う



第4回定例会において、12名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

12番	11番	10番	9番	8番	7番	令和2年12月9日	6番	5番	4番	3番	2番	1番	【質問者】
川畑 三郎	感王寺 耕造	池田 みずず	持留 良一	北方 貞明	新原 勇		前田 隆	池山 節夫	梅木 勇	森 武一	堀内 貴志	川越 信男	※質問順
議員	議員	議員	議員	議員	議員		議員	議員	議員	議員	議員	議員	
P12	P11	P11	P10	P10	P9		P9	P8	P8	P7	P7	P6	令和2年12月8日



川越 信男 議員

### いじめ問題・不登校調査について

**問** 本市のいじめの認知件数や不登校児童生徒数の現状、その要因は何なのか。

**答** 昨年度、本市において、いじめを認知した小学校は4校、中学校は1校で、認知件数は小学校が12件、中学校が11件である。今年度の認知件数は、令和2年10月末現在で小学校27件、中学校19件であり、昨年度より増加しているところである。内容については、小・中学校とも冷やかしやからかい、悪口や嫌なことを言われること、ふざけ合う中で肩をたたかれたり、足を蹴られたりしたことなど、軽微なものがほとんどであり、すぐに対応することで早期に解決を図ることができしており、現在まで重大事態等の発生はない。

### 国体開催について

**問** 国民体育大会が3年後に延期になったことについて、市長としてどのように感じているか。

**答** 担当職員を中心に、これまで積み上げてきたものが中止の判断ではなく、3年後でも開催することができ

けることは、素直にうれしく感じている。国体が3年延びたことをマイナスに捉えるのではなく、また3年を積み重ねることで、国体をより身近なイベントと捉え、多くの市民の皆さんに喜んでいただける大会になるよう、機運の継続に努めていきたいと考えている。

### 庁舎建設について

**問** 県耐震促進計画に基づく命令書では、本庁舎・別館・消防庁舎は令和4年度末までに耐震診断の結果を報告しなければならないが、この命令は垂水市だけに出されたものなのか。

**答** 令和4年度までに除却等を行わない場合、耐震診断を行い、結果を報告するよう県から命令書が出されたところである。新庁舎建設計画の白紙化を受け、令和4年度までの現庁舎の除却等は困難となったことから、耐震診断を行い、その結果を県に報告しなければならないと考えている。事例については、幾つかある。

### 【その他の質問】

- 学校給食センターについて
- 市税等の賦課及び徴収について



堀内 貴志 議員

新庁舎建設の在り方

耐震か？新築か？

問 世間では簡単に次の計画が出来て、新庁舎建設が進むものという認識があるようだが、そう簡単に進むものではない。有利な地方債がない中で財源の確保と新たな場所の選定が課題になる。市民の中には建設・解体費、仮庁舎移転費等含んで低額でできると断言している団体もあるが、ただ規模を縮小して安く仕上げれば良いというものでもない。耐震性能や庁舎機能を備え、そして何より市民のサービスや安心安全が確保されるのが大切である。また県からは耐震促進計画に基づく命令書も出ているが、今後の方向性について伺う。

答 今後の庁舎の在り方は、議会や市民の皆様の意見を確認しながら安全確保を第一に進める。そして先自治体における庁舎関係の情報収集や調査研究を進めるとともに、新たな庁内及び外部検討組織を設置する。更に新たな課題として、県の命令書に基づき現庁舎の耐震診断も行う必要がある。また庁舎建設を考える会

が示している建設案について、実現可能かどうか詳しい内容について、あらゆる機会を通じて確認しなければならぬと考えている。

国道220号牛根境防災事業  
十数年にわたる要望の成果

問 国道220号牛根境防災事業については、市長も市議の時代から継続で要望活動を実施し、この度やっと国の方で整備するための工事が始まる手はずが整った訳だが、事業実施に至った経緯と今後の事業内容について伺う。

また、地域から追加要望であった磯脇橋付近の歩道整備について伺う。

答 この事業に至った経緯は、これまで十数年にわたり行政と市議会議員の皆様が、国（国土交通省・財務省）や地元選出の国会議員に対して、陳情・要望活動を継続してきた成果であり、これまでの地道な努力に感謝している。今後の事業スケジュールは、令和3年度に概略設計を行い、令和4年度が詳細設計、令和5年度が用地を含めた補償等の交渉となり、その後の工事着工となる。整備計画がまとまった段階で地元説明会を開く。また磯脇橋付近の歩道整備は、今後の要望事項に追加することで検討する。

【その他の質問】

○コロナ禍における観光振興



森 武一 議員

本市で新型コロナウイルス感染症  
患者が発生した際の対応について

問 垂水市でコロナ患者が発生し、介護事業所職員が感染または濃厚接触者となった場合には、利用控えや、事業所の休止により家族への負担増など、様々な面で影響が考えられる。特に、利用控えは、介護度の重度化につながり、コロナ禍が収まった後まで影響が残る。介護事業所職員が感染または濃厚接触者となった場合の業務継続について伺う。併せて、感染者発生の場合の市民への影響について伺う。

答 本市でも、10月と11月の2回にかけて、業務継続計画の策定を市内各介護保険事業所に依頼し、11月末現在30事業所のうち、策定済みが1事業所、12月末策定予定が23事業所、1月末策定予定が1事業所、3月末までに策定予定の事業所が5事業所と、各事業所で職員・利用者等の感染が確認された場合の対応が検討されている。また、職員が感染し、人員が不足する場合は、同一法人内で人員を確保することを優先するが、人員を確保できない場合は、県内各事業

所等に行った派遣可能性調査の情報を基に、県・市町村を中心として老人保健施設協議会の協力団体も含めて調整を行い、協力施設から職員を派遣する仕組みができています。

なお、業務継続に必要な防護服など、感染症対策用具も本市では7月に予算化し、現在発注中である。県と連携して、県に備蓄してある感染症対策用品と併せて使用していく予定である。特別養護老人ホームなどの施設については、施設内の出入りも制限されており、施設職員や利用者以外の市民に、影響はほとんどないものと考えている。

新たな新庁舎建設計画に向けて

問 白紙となった庁舎建設に関して6月議会で示された資料を基に、収支見通しを独自に試算したところ、令和20年度には約10億円の財源不足との試算結果となった。6月議会で当局より、持続可能な財政運営は可能であると説明を受けたが、これは議会での説明と異なる。財政的に問題がないとの認識とは何だったのか説明を求めます。

答 中長期的な財政運営を正確に見通すことは困難であるが、起債発行額を一定額に抑えれば、財政運営には支障はないと判断したものである。

【その他の質問】

○国道220号牛根境防災について



梅木 勇 議員

錦江町の排水等対策について

**問** Aコープから中央病院・県宮住宅沿いの道路は、強い雨が降り、満潮と重なれば水はけが悪く冠水状態となることから、これらを解消するため、令和元年度に市道垂水9号線の測量設計業務委託がなされ計画ができていると思うが、実施設計による工事計画について伺う。

**答** 計画の実施については、社会資本整備総合交付金の補助事業を活用し、令和3年度から3か年で整備する計画で、計画延長は約560m、1年間に200mほど整備することになるが、補助金の割当により整備期間が延びることもある。Aコープと公設市場の間の市道側溝改修や海岸付近の強制排水のため



のポンプ設置については、垂水9号線の工事完成後、整備効果を確認し、実施を検討する計画である。

ミカンコミバエの防除について

**問** かんきつ類やトマト、ピーマンなど果実や果菜類の果肉を食害する農業大害虫のミカンコミバエが、鹿児島県でも屋久島をはじめ、20市町村で成虫の確認がされており、南大隅町では9月25日に幼虫が県本土で初めて確認され、防除は有人へりを使い誘殺板3万枚を散布したとの報道があった。

農家等から垂水はどうなんだろうと不安の声が聞かれるが、本市では生息調査は行われているのか、対策を伺う。

**答** 本市では調査は行っていないが、県が殺虫剤を塗布したトラップを県内400か所に設置し、本市の本城地内に設置している1か所では確認されていない。確認された場合、県と関係者が連携してトラップが増設され、その後、有人へり等による薬剤散布など、定着防止対策が実施される。

【その他の質問】

○7月豪雨の災害復旧について  
○振興会からの要望の実施状況について



池山 節夫 議員

次の新庁舎建設計画が動き出しても供用開始までは8年から10年！これからのまちづくりについて

**問** 住民投票によって、新庁舎建設計画は白紙となった。次の新庁舎建設計画が動き出したとしても、着工まで5年ぐらいい、供用開始まではさらに3年ぐらいい、合計では8年から10年の歳月が必要と見るのが妥当である。県から耐震診断の命令が来ている現在の庁舎を耐震診断せずに使い続ける選択はないと考えるが、このような認識でいいのか伺う。

**答** 耐震診断については、県から命令が出ていることから、本庁舎・別館・消防庁舎の耐震診断を行い、令和4年度までにその結果を報告しなければならぬと考えている。耐震診断の結果、耐震性が低く、耐震補強が必要と判断されたら、今後、どの程度庁舎を使用するのかにより、耐震補強のみ行うのか、耐震補強に併せて長寿命化も行うのかの検討が必要になると考えている。

パートナーシップ制度について

**問** 既に全国で60以上の自治体がこの制度を導入し、さきの鹿児島市長選挙で当選された下鶴新市長も、制

度の導入を公約されている。パートナーシップ制度導入に向けての見解を伺う。

**答** 本市においては、これまでのところパートナーシップ制度の相談等を受けたことがなかったため、制度の導入について具体的な検討はしていない。今後、市としての性的マイノリティーの人たちの人権に関してさらに理解を深め、制度をよく勉強させていただいた上で検討してまいりたい。

認知症の安心サポート事業について

**問** 昨年1年間に、認知症やその疑いで警察に届出のあった行方不明者は、全国で1万7479人である。認知症の安心サポート事業について伺う。

**答** 具体的な取組として、池山議員からGPSやQRコードを利用した先進事例について紹介がありました。南九州市が実施しているQRコードが印刷された見守り安心シールを利用した事業のほか、現在、本市で実施している垂水市在宅高齢者等緊急通報体制整備事業の契約先であるアルソックが行う見守りタグという小型端末を高齢者等に身に付けていただく事業等を参考にし、本市の実情に合った施策について検討していく。

【その他の質問】

○コロナによる市内経済への影響とGOTO施策等の効果について





前田 隆 議員

地域活性化対策事業の検証

**問** 新型コロナウイルス対策プレミアム付商品券事業の販売に至った経緯と、プレミアム率100%にした根拠について伺う。

**答** コロナ禍の緊急経済対策としてプレミアム付商品券の配布、もしくは販売を県内19市、全てが実施しており、5市が配布、6市が100%、残りの7市が40%のプレミアム付商品券を販売していることから、検討の結果、買い求めやすいプレミアム率100%の1万円券販売とした。

また、消費低迷のブリ、カンパチセットをプレゼントし、消費対策の一助とした。結果、大好評で市全体6284世帯のうち、4452世帯が購入され事業効果は十分あったと思われる。

今後、市民の消費意欲喚起と事業者の景気回復につながるものと期待しているところである。

垂水市上水道事業について

**問** 重要拠点施設に繋がる基幹管路

更新事業の現状と今後の計画、進捗見通しについて伺う。

**答** 医療機関など重要拠点施設への水道管路が基幹管路とされており、本市は約24kmあり、そのうち耐震管は約4km、耐震化率は20%である。今後40年かけて毎年1億円程度の

予算措置で各事業を実施し、今年度策定する全管路の耐震化計画で重要拠点施設への基幹管路の更新時期を定めることにしている。基幹管路の進捗は1年で500m、40年かけて耐震化完了の見通しである。

国民健康保険について

**問** コロナ過で国民健康保険減免申請が増加しているが、国保税軽減予想額はいくらか、その補助金について伺う。

**答** 新型コロナウイルスの影響による国保税の減免は、令和元年度分が41件減免額101万6400円、令和2年度分が44件、減免額956万3100円、合計1057万9500円を見込んでいる。減免した全額が災害等臨時特例補助金等で支援を受けられるものとなっている。

【その他の質問】

- 国保健全化対策について
- 配水池の緊急遮断弁設置について
- おもてなしキャンペーンについて



新原 勇 議員

島津家墓所の復旧について

**問** 令和2年3月に国指定史跡に指定された島津家墓所は、7月の豪雨により城山の土砂崩れがあり、墓所まで立木が流れ込み一部が倒壊されたままであるが、今後の復旧と工手法について伺う。

**答** 文化庁に国指定文化財毀損届を提出し、文化庁と県文化財課の指示を仰ぎながら復旧作業の準備中である。歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費の災害復旧に係る国庫補助金（補助率70%、上限85%）を活用し、実施する予定である。

工事については墓石に損傷を与えないよう、慎重かつ丁寧な発掘作業が必要となる。裏山

工事にしても墓所の景観保持を見据えた施工



被災時の島津家墓所

工を行えるよう、各関係者と協議する。

限界集落について

**問** 現在、垂水市の人口は、10年前と比べると人口で3390人、世帯で909世帯減少している。1世帯減るごとに3人減少していき、少子高齢化でますます平均年齢も上がってくと、コミュニティも崩壊してくる。

143振興会の現在の限界集落数と、振興会の統合の支援策は。

**答** 限界集落の定義としては、65歳以上が集落の50%以上で、社会的共同生活の維持が困難な状態に置かれている集落である。本市において65歳以上の比率が50%以上の振興会は、66振興会である。

振興会支援については、垂水市振興会合併補助金交付要綱に基づき、合併前の振興会数から1を減じた数に10万円を乗じた金額を交付する制度がある。直近の事例では、牛根地区の3振興会が合併した事例があり、1年に20万円を5年間交付している。

【その他の質問】

- 垂水高校について
- 成人式参加者のPCR検査補助について
- 市庁舎建設について



北方 貞明 議員

未収金について

**問** 未収金についてこれまで何度も質問してきたが、回収が進んでいない。元市長の退職金返納額・元職員の給食費横領金返納額はどのようになっているか。また、2人とも亡くなっているが、今後どのように対応していくのか伺う。

**答** 岩下元市長の返納額は1345万6600円で、現在まで436万6600円返納されており、残額は909万円となっている。元職員の横領した金額の総額は2313万5083円で、現在まで19万8792円返納されており、残額は2293万6291円となっている。

今後は、元市長については現在、相続人について調査中で、顧問弁護士と相談していく。元職員については、債務負担が発生する相続人4名に対して損害賠償請求に関する通知を行っているところで、法的な手続等を顧問弁護士と相談している。

乗合タクシーについて

**問** 乗合タクシーは現在3事業者で、路線バスの運行がない地域を4コー

スで運行されている。今年10月1日から運行便も増え、運行時間も変更され、以前より利用者は利用しやすくなり、大変喜んでおられるが、3事業者による4コース運行について、運行開始の平成21年度から一度も運行コースの見直しがされていない。乗合タクシー運行に対する覚書では、2年ごとに見直すことになっている。発足当時は保有台数も異なり、1事業者が2コースであったが、現在では各事業者の保有台数も7台程度であり、事業者の運行コースの見直しが必要ではないか。

**答** 運行コースの見直しについては、事業開始から2年後の平成23年度と25年度の2回協議しており、その後、協議会は開催されていないが、乗合タクシー事業の対象地域の市民を対象にアンケート調査し、運行コース見直しの必要性を判断していただいている。運行協議については本年、6年ぶりに開催し、3事業者と協議し、今後運行コースの見直し協議を行うことを報告した。開催時期については、今年度10月から実施している運行便数増便の効果を確認・検証し、約1年後の令和3年12月以降を予定している。

【その他の質問】

○新庁舎について  
○広報たるみず（市報）について



持留 良一 議員

生活を壊す介護保険料値上げ

**問** 高齢者の多くは年金が減り、消費税や保険料が上がる中、貯蓄を崩し生活を切り詰めている。これ以上の負担を受け止める余裕などにもない。介護保険料を値上げした場合、高齢者生活への影響はどうなるか。高齢者等の生活を守る責務が行政にあり、値上げは抑えるべきと考えるが見解を伺う。

**答** 平成30年度、令和元年度の介護給付費が計画値を超えていることや、これまでの給付費増加とともに介護保険料を値上げしている状況を見ると、第七期の介護保険料より上昇することは避けられないと考えている。

介護保険料は、年々増加をたどってきている。低所得者対策として所得段階の第一段階の方々において、保険料の軽減措置を行い、対策を第三段階まで広げた。被保険者数5982人中、3200人程度が軽減の恩恵を受けている。現在の状況では、年金が少ない方などへの介護保険料による負担は軽減されているものと考えてる。

安心して産み育てられる環境の整備を

**問** 不育症とは、広い定義では妊娠しても流産や死産を繰り返す、結果的に子どもをもたない状態と言われている。子育て支援策の充実が必要と考えるが見解を問う。

**答** 子育て支援は重要施策として公約に掲げているので、不育症で悩む方々の支援の必要性というのは十分理解している。国の動向に注視しながら、本市として見解、支援の必要性については、子どもを授かることを望みながら、流産を繰り返す治療されている方の肉体的・精神的・経済的な負担を考えると、さまざまな支援の必要性は十分理解できる。相談体制もさらなるスピードアップを図り、悩みを抱えることなく相談できるように広報の周知徹底を図るとともに、経済的支援については、国の支援の動向を見ながら対象要件や助成額の単価、財源等について事業化に向けて情報収集し、調査を進めながらそれまでの間として何ができるか、どのような支援ができるか早急に検討していきたいと考えている。

【その他の質問】

○新庁舎建設についての政治姿勢について  
○気候危機への責務と取組について  
○学校給食の民間委託問題



池田 みすず 議員

職員採用について

**問** 全職員数に対する女性職員数とその割合、女性管理職の登用・取組について伺う。

**答** 令和2年4月1日現在の全職員数は189名（消防職除く）、うち女性職員は49名で構成割合25・9%である。管理職については、課長級は22名中女性職員0、課長補佐級は30名中5名、係長級は40名中7名である。男女共同参画社会の実現に向けて、男女差別のない人事に努めていくことが重要であり、キャリアデザイン研修等の各種研修についても積極的に受講できる環境づくりを進め、それぞれの階級に見合った業務が遂行できる体制づくりが重要であると考えている。

簡易水道事業を上水道事業に統合する計画について

**問** 今後のスケジュールと問題点について伺う。

**答** 令和3年～4年度の2年間で牛根地区の簡易水道事業の統合を予定。問題点は給水収益だけでは事業運営はできず、一般会計からの繰入

金に依存して事業運営を行っており、施設の修繕・改修も最小限の規模に留めていたことから、上水道事業への経営統合後、様々な修繕・改修等に伴う経費の増加が経営全体に与える影響が懸念される。また、人口減に伴う給水人口の減少も予測される中で、近い将来に水道料金の値上げ検討は避けられない状況である。事業統合後、経営状況を見ながら水道料金の値上げ時期の判断・検討を行う。

たるたるおでかけチケット交付事業について

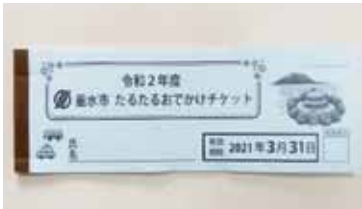
**問** 交付状況及び今後の取組について伺う。

**答** 交付状況は交付率62・2%。多くの市民の皆様にご利用いただき、もっと喜んでいただくためにはこの事業について検証する必要がある。本年度は事業の周知活動に努めたものの、設定した交付率の目標値には届いていない。今後も新型コロナウイルス対策に留意し、交付率アップに努める。

【その他の質問】

○公共料金のコンビニ等の納付について

○かごしま国体について



感王寺 耕造 議員

白紙化 庁舎建設計画

**問** 現庁舎、市民館も候補地に挙がっていたが、二つの候補地の隣接地購入、また地権者へ売買等の意向調査等を行ったのか。

また、新庁舎建設を考える会から、公開質問状が出ているが、説明責任を果たさなければ、ノーサイドとはならないのではないかと考えるが見解は。

**答** 現庁舎、市民館における隣接地の購入費算出は、現庁舎及び市民館だけでなく、錦江町旧フェリー駐車場跡地も含めて、候補地評価の段階で基本計画委託事業者から、それぞれの概算金額が報告されている。また、地権者への意向調査については、基本計画案のパブリックコメント前に3つの候補地内の地権者に対し、建設候補地であることを説明している。

二点目は、正式には内部検討委員会の中で1月ぐらいに招聘し、それぞれの意見を聞くということだが、その前に今回の住民投票の結果を踏まえて、話し合いを持つべきだと考えている。新庁舎建設を考える会もそういう気持ちだと思いが、事務的な交渉の中で、現在止まっているが、いつでも話をする機会を設けたいと考えている。

寄付採納を受けるべきか

**問** 寄附採納を受けた牛根中央クリ

ニツクの今後の活用方法は。活用方法が正式に決定しない土地・建屋等の寄附に必ずべきではないと考えるが。

**答** 牛根地区では以前から医療施設整備の要望等が上がっており、住民からの必要性も十分感じているため、跡地を利用した医療施設等の整備について検討を行っている。また、隣に牛根中学校跡地があり、敷地利用の拡張性が高いことや今後、医療施設及び整備地に係る費用が発生するため将来的な負担軽減など総合的に判断し申入れを受けた。

市としても、活用方法が正式決定した後で寄附に応じることが理想と考えるが、相手がいるため、市の都合・タイミングだけでは決められない現状がある。

地域に根ざした支所機能と郵便局

**問** 日本郵政への証明書交付事務、事務の包括受託について現在までの折衝内容は。

**答** 昨年の夏頃に日本郵便（株）から窓口業務の包括受託の提案があった。内容は牛根支所内に郵便局の設置、新城支所内から郵便局内へ支所機能を移し、窓口事務の包括事務を受けられるものである。提案を受け、提案内容に基づいた包括委託の課題等についての協議を関係課で行い、両支所で取扱っている業務の洗い出し、業務フローの確認、委託希望の有無を取りまとめ、郵便局と事務レベルでの意見交換を実施した。



川畑 三郎 議員

**林道・市道の整備について**

**問** 林道海潟麓線は、平成3年度から工事が始まっている。現在の進捗状況は。

また、海潟林道の整備は。

**答** 海潟麓線は、桜島を目の前に望む森林基幹道で、協和地区公民館付近市道から、道の駅たるみず付近間の延長1万2400m、幅員5m。現在も工事中で、毎年、海潟・牛根麓側の双方から工事を進めており、最後の連結部が一番の難所であるが、残り400m余りで、あと2〜3年かかるものと思われる。

海潟浦谷線（海潟林道）は、海潟麓林道として2・4kmは改修工事で実施され、残りは一部管理が滞っている箇所がある。現地を調査し、早い時期に維持管理の対応を行う。

**農業・水産業について**

**問** 新型コロナウイルスによる農業・水産業への支援は。

**答** 農業支援における高収益作物次期作支援交付金は、前向きに次期作に取り組むよう、申請要件が簡素で弾力的要件もあり、56経営体から申請があった。

また、県の事業についても応募手続きの支援に努めた。

水産業について、垂水市では地方創生臨時交付金事業を活用し、カンパチ・ブリの消費対策につながる様々な事業を実施。国・県の対策事業で、垂水市漁協並びに牛根漁協が取り組んでいる販売対策事業の支援を行っている。水産物販売促進緊急対策事業で、県内の学校だけでなく、埼玉県からも本事業が活用され、学校給食の食材として垂水市漁協のカンパチ24トン、牛根漁協のブリ23トンの注文があった。

**庁舎の在り方について**

**問** 新庁舎建設について、外部検討委員会から、今後の整備に反映させるため、建設の反対・賛成の意見を聴取する機会を設けるよう要請されたと聞く。引き続き外部検討委員会を設置するのか、今後の対応は。

**答** 垂水市新庁舎建設検討委員会は、学識経験者及び関係団体の代表14名で平成29年6月にスタートした。これまで13回にわたり委員会を開催し、基本構想・基本計画・基本設計の要望や提言、候補地の外部評価など、十分な委員会活動を行っていた。本年度末で任期を終えるため、設置目的や委員構成について見直しを検討している。10月に県から示された命令により耐震診断を行い、その結果を踏まえて対応していきたい。

**賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)**

氏名	新原 勇	森 武一	前田 隆	池田 みずず	梅木 勇	堀内 貴志	川越 信男	感王寺 耕造	持留 良一	北方 貞明	池山 節夫	徳留 邦治	川畑 三郎	篠原 静則	○ 賛成	× 反対	審議結果
	議案番号・議案件名																
議案第71号 垂水市職員の給与に関する 条例の一部を改正する 条例 案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	12	1	原案可決
議案第72号 垂水市第2号会計年度任用 職員の給与に関する条例の 一部を改正する条例 案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	12	1	原案可決

## 令和2年第4回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第14号	損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	公用車両の他車両接触に伴い、修繕費等を賠償し和解するもの	—
報 告 第15号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度垂水市一般会計補正予算（第9号））	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業（プレミアム付商品券、院内感染防止対策の強化、小・中学校の換気対策設備やオンライン学習環境の整備等）に係る増額補正	承 認
報 告 第16号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度垂水市一般会計補正予算（第10号））	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業に伴う増額補正や、タブレット端末購入事業におけるソフト使用料等の減額補正	承 認
報 告 第17号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度垂水市病院事業会計補正予算（第4号））	垂水中央病院における新型コロナウイルス感染症対策事業（環境整備費用等）に係る増額補正	承 認
議 案 第60号	令和元年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について	令和元年度各会計の決算を審査するもの	認 定
議 案 第61号	令和元年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第62号	令和元年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第63号	令和元年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第64号	令和元年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第65号	令和元年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第66号	令和元年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第67号	令和元年度垂水市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第68号	令和元年度垂水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		
議 案 第69号	垂水市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 案		
議 案 第70号	垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	法改正に伴い、市長・副市長・教育長の期末手当の支給月数を0.05月分引き下げようとするもの	原案可決
議 案 第71号	垂水市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	人事院勧告に伴い、職員の期末手当の支給月数を0.05月分引き下げようとするもの	原案可決
議 案 第72号	垂水市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	人事院勧告に伴い、第2号会計年度任用職員の期末手当の支給月数を0.05月分引き下げようとするもの	原案可決
議 案 第73号	垂水市税条例の一部を改正する条例 案	税制に関する法令等の一部改正に伴い、条文を整理するもの	原案可決
議 案 第74号	災害被害者に対する市税減免条例の一部を改正する条例 案	令和2年7月豪雨災害における減免に限定した特例を設けるもの	原案可決
議 案 第75号	垂水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 案	国民健康保険税の減額に係る軽減判定所得基準の見直しと、見直しに合わせた規定を整備するもの	原案可決
議 案 第76号	垂水市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 案	地方税法施行令の一部改正に伴い、文言を整理するもの	原案可決
議 案 第77号	垂水市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例 案	市町村民税非課税世帯の医療給付制度について、対象年齢が18歳まで拡大されることに伴い、条文を整理するもの	原案可決
議 案 第78号	垂水市火災予防条例の一部を改正する条例 案	急速充電設備を設置する位置、構造、管理に関する条例の制定基準について、規定の整備と文言整理を行うもの	原案可決
議 案 第79号	垂水市道の駅交流施設の指定管理者の指定について	道の駅たるみず（牛根）の新たな指定管理者の選定について、議会の議決を求めるもの	原案可決
議 案 第80号	垂水市猿ヶ城溪谷森の駅たるみず及び垂水市猿ヶ城活性化施設の指定管理者の指定について	森の駅たるみず等の新たな指定管理者の選定について、議会の議決を求めるもの	原案可決
議 案 第81号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	組織構成団体数の減少に伴い、組合規約を一部改正するもの	原案可決

## 令和2年第4回定例会に提案された件名と結果一覧

番号	件名	内容	審議結果
議案 第82号	令和2年度垂水市一般会計補正予算（第11号）案	新庁舎建設工事継続費の廃止や庁舎整備事業の減額、地方創生臨時交付金充当事業の確定に伴う減額等の補正	原案可決
議案 第83号	令和2年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	国保税減免に伴う補正や、会計年度任用職員の新規雇用に係る増額補正等	原案可決
議案 第84号	令和2年度垂水市介護保険特別会計補正予算（第3号）案	システム改修事業費や、地域支援事業費の高額介護サービス等の増額補正	原案可決
議案 第85号	公立学校情報機器（端末）購入契約について	タブレット端末購入契約について、議会の議決を求めるもの	原案可決
議案 第86号	令和2年度垂水市一般会計補正予算（第12号）案	ひとり親世帯臨時特別給付金に係る増額補正	原案可決
請願 第3号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級化についての意見書提出を求める請願	コロナ禍における20人学級を展望し、少人数学級化への施策を国の責任で実施するよう求めるもの	採択
請願 第4号	介護保険料の負担増の中止と意見書の提出を求める請願書	介護保険料の負担が増えないよう、国への意見書提出を求めるもの	継続審査
陳情 第8号	日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書提出についての陳情	核兵器禁止条約への署名・批准に係る国への意見書提出を求めるもの	採択
陳情 第9号	新庁舎建設の新たな計画づくりの推進を求める陳情	特別委員会の設置や、新たな新庁舎建設計画づくりを推進するよう求めるもの	不採択
意見書案 第8号	種苗法「改正案」の廃案を求める意見書案	種苗法「改正案」の廃止を求める政府への意見書	原案可決
意見書案 第9号	少人数学級の推進を求める意見書案	上記請願第3号に係る意見書	原案可決
意見書案 第10号	核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書案	上記陳情第8号に係る意見書	原案可決

## ～ 議員の主な活動 ～ 【令和2年11月～令和3年1月】

- 11月4日(水) 県市議会議長会臨時総会  
～5日(木) ・国会議員との意見交換会（東京都）
- 11月13日(金) 大隅肝属広域事務組合議会定例会（鹿屋市）
- 11月16日(月) 後期高齢者医療広域連合議会  
全員協議会・議員研修会（鹿児島市）
- 11月30日(月) 後期高齢者医療広域連合議会定例会（鹿児島市）



11/4 国会議員との意見交換会



1/14 県市議会議長会臨時総会

- 12月2日(水) 組合議会定例会（鹿児島市）
- 12月17日(木) 垂水経済同友クラブ総会
- 1月14日(木) 県市議会議長会臨時総会（鹿児島市）
- 1月29日(金) 後期高齢者医療広域連合議会  
全員協議会・議員研修会（鹿児島市）



# 決算特別委員会

10月21・22日に決算特別委員会が開会され、令和元年度の各会計の歳入歳出決算について審査を行い、認定しました。

審査にあたり、決算の性質に鑑み、予算が議決の趣旨・目的に沿って適正に執行され、かつ所期の目的が達成されたかどうか等に重点を置いて審査しました。

一般会計決算全体概要（四捨五入値）

	令和元年度	平成30年度	差 額	増減率
歳入総額	133億 8,146万円	118億 9,910万円	14億 8,236万円	12.5%
歳出総額	131億 6,107万円	116億 1,742万円	15億 4,365万円	13.3%
形式収支	2億 2,039万円	2億 8,168万円	-6,129万円	-21.8%
繰越財源	6,159万円	1,900万円	4,259万円	224.2%
実質収支	1億 5,880万円	2億 6,268万円	-1億 388万円	-39.5%

## 〔一般会計決算状況〕

決算額は、歳入が133億8146万円に対し、歳出が131億6107万円で、歳入から歳出を差し引いた形式収支は2億2039万円となっている。

また、この額から繰越事業の財源として、翌年度へ繰り越すべき財源は1億5880万円となっている。

## 〔監査委員意見〕 ※抜粋

実質収支は一般会計で1億5880万1990円、特別会計全体で7449万6340円となっており、すべての会計で純損失のない黒字を計上し、健全財政を維持している。

## ○懸案事項

「地方債残高」は前年度より2億6080万8641円増加し、99億6029万601円となっている。  
市債は、財政改革プログラムの断行により平成28年度の市債残高は92

特別会計決算額

特別会計名	決 算 額		実質収支
	歳 入	歳 出	
国民健康保健特別会計	22億 182万2千円	22億 20万7千円	161万5千円
交通災害共済特別会計	602万3千円	264万2千円	338万1千円
地方卸売市場特別会計	482万5千円	343万9千円	138万6千円
介護保健特別会計	23億 443万3千円	22億 4,385万7千円	6,057万6千円
後期高齢者医療特別会計	2億 2,006万3千円	2億 1,996万9千円	9万4千円
老人保健施設特別会計	6億 4,329万8千円	6億 4,051万7千円	278万1千円
漁業集落排水処理施設特別会計	3,213万7千円	3,033万6千円	180万1千円
簡易水道事業特別会計	3,358万7千円	3,072万6千円	286万1千円

億円程度まで減少してきたが、ここ最近では増加傾向にあるため、市債の安易な増加を招かないよう各種事業の峻別等の徹底を図りたい。



## 〔決算特別委員会からの意見〕

○一般会計（選挙管理委員会事務局）  
投票率向上のため、期日前投票所の増設を要望する。

○国民健康保険特別会計  
法定外繰入金について、なるべく支出を抑える努力を要望する。

【特集 第12回】  
垂水市の史跡めぐり

ジンコンスジ

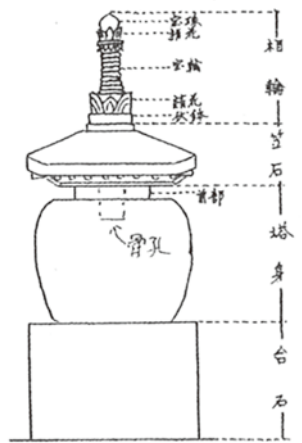
椋原の下比良と江良迫の間の小路を「ジンコンスジ」と言っています。山手へ向かって左側(西)にお寺や、相良氏の屋敷や墓があったといわれています。椋原郷土誌資料に、リンコンスジは相良リンコウという仙人の屋敷のあった所で、その名をとってリンコンスジと言い、リンコウ仙人は相良甚五郎という名で甚五郎すじがジンコンスジとなったといわれます。

相良系石塔

椋原下比良、ジンコンスジを山手へ行くと、その道の下、旧相良家の裏庭に宝塔の塔身があります。



→相良系宝塔の塔身



→宝塔の図版

塔身は、上部真中の納骨孔があつて、この穴を大きくして手洗い鉢に使っていました。宝塔は、上部から相輪、笠石、塔身、台石からなっていますが、ここでは塔身だけ残っています。しかも倒卵形でその形状から相良系のものと思われまます。

相良系は、熊本県の人吉の相良氏の系で水之上では相良系の分系とされる永留氏の墓石が確認されており、椋原上比良、まがいどんの近くに相良系の文様が刻まれた層塔も残っています。

この塔身の首部は、上部の穴を拡大するためにその部分が消滅して、時代考証が不可能ですが、いずれにしても宝塔は昔の豪族の墓で、垂水市内では極めて数が少ないです。

【参考文献】

「ふるさとの歴史 垂水椋原編」

中島信夫著

市議会へ行こう

令和3年 第1回定例会会期日程 (案)

月	火	水	木	金
2/15	16	17	18	19 本会議
22	23	24	25 産業厚生委員会	26 総務文教委員会
3/1	2	3 総括質疑 一般質問	4 総括質疑 一般質問	5 産業厚生委員会
8	9	10 予算特別委員会	11 予算特別委員会	12 予算特別委員会 (予備日)
15 予算特別委員会 (総括質疑)	16	17	18	19 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。(新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用の遵守や傍聴を制限する場合もあります。本議会の様子はライブ配信していますので、インターネット中継をご覧ください。)  
※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。  
※2月19日、3月19日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。  
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

昨年は新型コロナウイルス感染症によって社会が一変してしまい、これまでに経験のない、また我慢を強いられた一年であり、議会活動にも様々制約がかかりました。今年中にコロナ禍が収まることを願うばかりではありませんが、ワクチンが行き渡り社会が平常に戻るには、今しばらく時間がかかるようです。

それまでの間、何とかこのコロナ禍を乗り越えていきましよう。議会も皆様とともに、また執行部とともに対応していきますのでご協力お願いいたします。皆様の一年がよい年となりますようお祈りいたしております。

編集委員会としましては、開かれた議会を担う一翼として市民の皆様にご愛読いただける紙面づくりに励んでまいります。本年もご愛読よろしくお願いたします。